

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

七小で育まれる命



1学期も来週で終わりとなります。今日は1学期に撮った写真をいくつか見てもらいます。

始めにこちらの写真は何をしているところか分かりますか。3年生以上の皆さんは経験をしているので分かると思いますが、今年の5月に3年生が行った「ヤゴ救出大作戦」です。プールにそのまま放っておいては流されて死んでしまうヤゴを救えるだけ救ってあげました。

そして、餌をあげたり、水を替えたりして大切に育てることで、何匹かトンボになることができました。

次の写真は何でしょう。観察池の横にあるミカンの木です。ここでは、アゲハチョウの卵や幼虫がいました。これも3年生が、餌となる葉っぱをあげたり、糞の掃除をしたりしてお世話をすることで、何匹もチョウになることができました。七小で生まれたトンボやアゲハチョウが元気に外を飛んでいる姿を見られたことは本当にうれしいですね。

さあ、次の写真は何だか分かりますか。体育館への渡り廊下の上にできた鳥の巣です。ここに4羽のヒナがいます。2週間ほど前までは、この巣に親鳥が静かに座っていましたが、先週、気が付いたらヒナになっていました。親鳥はというと、餌を探して近くにいました。親鳥が近づくと、ヒナたちは口を大きく開けて待っている姿も見られます。

この鳥はセグロセキレイというのですが、実は3年前にも2階事務室の窓の下に巣がありました。もしかしたら、その時に巣立っていったセグロセキレイが故郷の七小に戻ってきて巣を作ったのかもしれませんがね。親鳥が大切に育てているので、ヒナが巣立つまで温かく見守ってあげましょう。

この他、七小では朝顔やミニトマト、ホウセンカやジャガイモ、ゴーヤなど、植物の命も育まれています。今日は、七小で生まれて育っている生き物、大切な命についての話をしました。でも七小にはもっともっと大切な命がたくさんあります。

これは、今年の1年生の入学式の日の写真です。この1学期で1年生も大きく成長しましたね。2年生から6年生は、数年前の自分の姿と思って見てもらおうと、どれだけ成長してきたかが分かります。七小では、七小の子供たち579人の大切な一人一人の命が育まれています。自分を大切に、そして、自分と同じように友達も大切にしてもらいたいです。



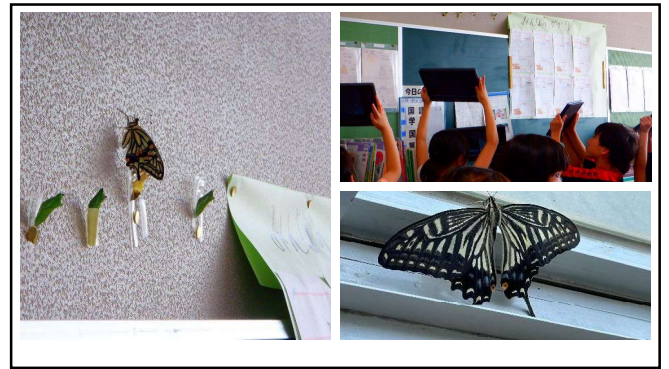
1



2



3



4



5



6